

# 「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」 実施計画策定等業務委託仕様書

## 1 委託名称

「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」実施計画策定等業務委託

## 2 業務目的

本業務は、2025 年開催予定の淡路島での祭典「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」実施計画（以下「実施計画」という。）の策定等を目的とする。

### 〔祭典概要〕

(1) 名称 「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」

(2) 開催目的

国際園芸造園博「ジャパンフローラ 2000」の開催から 25 年の節目を迎え、2010 年以降、5 年毎の花みどりフェアを通じて培ってきた「人と自然の共生」の理念を継承するとともに、地域主体の「花と緑」の取組を未来に向けて継続していく「始まりの機会」として国内外に発信するために、淡路島を舞台とした祭典を開催する。

(3) 理念等

※ 今後基本計画等を策定するなかで、変更が生じる可能性がある。変更が生じた場合は、変更後の理念等に沿った実施計画等を策定すること

① 淡路島を取り巻く環境の変化

ア SDG s への関心の高まり

国際的な SDG s の機運向上を受け、本県においても SDG s を推進している。淡路島においても、カーボンニュートラルに資する廃材の活用等、SDG s の取組を実践している。

イ コロナ禍をきっかけとした地方回帰の流れ

コロナ禍やデジタル化の進展により、東京一極集中の潮流が変化している。淡路島においても、移住者や移転企業が増加している。

ウ これまでのレガシーの蓄積

ジャパンフローラ 2000 の開催とその後 3 回の花みどりフェアを通じて、花博の理念が浸透している。淡路島においては、地域住民主体の「花・緑」に関する取組が根付いている。

エ 2025 大阪・関西万博の開催

2025 大阪・関西万博が 2025 年 4 月 13 日から開催される。想定入場者数は約 2,800 万人と想定されており、国内外から多数の観光客が訪れるこの機会を活かし、本

県への来場者を増加させる「ブースター機能」の役割が期待されている。

② 理念（案）

「淡路島を取り巻く環境の変化」を踏まえ、以下の理念を掲げる。

※ 今後企画委員会で検討

環境	SDGs に資する取組の普及・先導
継承・発展	これまで培ってきた人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして継承し、発展させる
淡路からの発信	万博の機会を捉え、これまで育み、蓄積してきた取組を国内外に再発信

③ テーマ

理念を実現するとともに、国内外にわかりやすく「淡路花博 25 周年記念 花みどりフェア」の開催趣旨を伝えるテーマを掲げる。 ※ 今後企画委員会で検討

(4) 会期

2025 年 3 月 20 日（木）～4 月 27 日（日）（予定） ※ 今後企画委員会で検討

(5) 祭典会場

①	淡路会場	淡路夢舞台、国営明石海峡公園
②	洲本会場	洲本市中心市街地
③	南あわじ会場	淡路ファームパーク イングランドの丘
④	観光施設等	あわじ花さじき、淡路景観園芸学校、高田屋嘉兵衛公園、うずの丘大鳴門記念館等の約 80 の施設（予定）

①淡路会場、②洲本会場、③南あわじ会場をメイン会場とし、④観光施設等はサテライト会場として実施予定

(6) 目標入場者数

約 75 万人（メイン会場のみ）

(7) 推進体制

下図のとおり。

【実行委員会】

名誉会長：兵庫県知事

委員長：（一財）淡路島くにうみ協会理事長

委員：国、県、淡路3市、関係団体等の約80名の委員

〔事務局：（一財）淡路島くにうみ協会内に設置〕

——— 【顧問】

【企画委員会】

委員長：中瀬 勲（兵庫県立人と自然の博物館 館長）

各分野の有識者、関係行政機関及び関係団体の代表約10名で構成



## ② 会場計画

### ・前提条件等の確認等

会場計画における基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること

### ・メイン会場、サテライト会場における展示・行催事のレイアウトの検討 詳細ゾーニング図等による会場レイアウトの検討を行う。

### ・植栽等の会場修景計画の立案

上記を踏まえ、メイン会場、サテライト会場における修景計画（会場全体のコンセプト、デザイン(イメージ図等)、会期中の装飾替え等）を立案する。

### ・諸施設の検討及び諸条件の設定

上記を踏まえ、個々の施設について、内容、位置及び規模等の検討を行う。

ア) 施設計画（修景施設、バックヤード含む）

イ) 仮設構造物に関する検討

ウ) 電気・通信施設に関する検討

エ) 給排水施設に関する検討

オ) サインに関する検討

カ) 会場外仮設施設（管理運営施設、臨時駐車場等）に関する検討

キ) 既存施設の改良・復旧に関する検討

ク) その他必要な施設に関する検討

ケ) 上記の計画実施に係る業務仕様書（案）の作成

## ③ 展示・行催事計画

### ・前提条件等の確認等

行催事の基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること

### ・目玉事業となる行催事計画の立案

今回の祭典で目玉事業となる行催事計画の立案

### ・淡路島ならではの行催事計画の立案

地元、淡路島の特色を活かした行催事計画の立案

### ・計画の立案においては、以下の点に留意すること

ア) 祭典概要に記載のとおり、**ジャパンフローラ 2000** とその後3回の花みどりフェアの開催により育んできた理念を具体化する工夫を行うこと

イ) 花と緑をはじめとする淡路島の地域資源を効果的に発信すること

ウ) 地域住民の協力を積極的に得ること。そして、企画・立案・実施の検討過程を通じて、地域住民が「花と緑」を中心とした淡路島の魅力を再認識し、未来に向けて継続発信する意識を育むしくみを検討すること。中でも、地域の若者のアイデアを積極的に取り入れ、同様に企画・立案・実施に参加させることで、次代の魅力ある淡路島を担う人材の育成に繋げるしくみを検討すること

- エ) 竹の廃材の活用など、島内で取り組まれている SDGs に資する取組を積極的に取り入れ、人と自然の共生のあり方の事例として PR すること
- オ) 島内に点在する地域資源を繋ぎ合わせることで観光資源として仕立て上げ、国内外の観光客に効果的に PR する工夫を行うこと

- ・事務局で検討する展示・行催事の実施計画の取りまとめ（実施イメージを表現するイメージ図等の作成を含む。）
- ・準備体制の検討  
準備スケジュール、実施スケジュール、施工・設営方法その他必要となる準備体制の検討を行う。
- ・その他、展示・行催事に関わること  
プレイベントの計画・行催事プログラムの立案等、行催事の実施に係る諸事項について計画を立案すること
- ・上記の計画実施に係る業務仕様書（案）の作成

#### ④ 交通輸送計画

- ・前提条件の確認等  
展示・行催事計画を踏まえ、基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること
- ・交通輸送計画の立案  
会場間及び会場と臨時駐車場間の輸送計画、島外と会場間の輸送計画など、来場者数目標を踏まえた効果的な交通計画を立案すること。シャトルバスや高速バスにおけるクローズドアの一部解消便、自転車、キックボード等、経路に応じて適切な手段を検討するとともに、所要時間、便数等も配慮すること
- ・駐車場計画の立案  
駐車場の詳細な配置計画、開設計画を立案すること
- ・上記交通輸送計画及び駐車場計画実施に係る業務仕様書（案）の作成

#### ⑤ 運営計画

- ・前提条件の確認等  
会場運営における基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること
- ・会場サービス計画の立案  
会場案内、来場者接遇、放送・情報サービス、遺失物・取得物対応、迷子対応、サービス施設（各種案内施設、トイレ、休憩施設、物販、フードコートなど）、会場内移動手段、主催者実施の有料コンテンツ運営等のスタッフの配置、その他必要となる会場サービス計画を立案するとともに、業務仕様書(案)を作成すること
- ・会場外装飾計画の立案  
各 IC、沿道などメイン会場、サテライト会場までのアクセス等の花装飾計画を

立案するとともに、実施に係る業務仕様書(案)を作成すること

・会場管理計画の立案

警備、会場点検、清掃、廃棄物処理、医療・救護、災害等緊急時の対応、交通誘導、駐車場管理スタッフ等の配置、必要人員数その他必要となる会場管理計画を立案するとともに、業務仕様書（案）を作成すること

・ボランティア活動計画の立案

各種ボランティアの募集・管理・運営計画、その他必要となるボランティア活動計画を立案するとともに、業務仕様書（案）を作成すること

・SDGs の理念に基づき具体的な環境計画を立案すること。地域住民が行う SDGs の理念に沿った取組を積極的に取り入れること

⑥ 広報計画

・前提条件の確認等

基本計画及び先催事例等の収集及び分析を行い、広報における基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること

・各種広報媒体を活用した広報・協賛計画の立案

SNSやYouTube等を積極的に活用し、国内外に効果的にPRする広報計画を立案すること。また、マスコミや旅行会社、企業、団体等との事業協賛を図るしくみも構築すること

・上記の計画実施に係る業務仕様書（案）の作成

⑦ 誘致活動計画

・前提条件の確認等

基本計画及び先催事例等の収集及び分析を行い、観光客誘致における基本的な考え方を整理し、展開方針をまとめること

・誘致活動計画の立案

観光客誘致の重点目標、ツアー造成を含む広報宣伝と連携した観光客誘致の方策、その他必要な誘致活動計画を立案すること

・大阪・関西万博による国内外からの観光客を淡路島に誘う計画を立案すること

・上記の計画実施に係る業務仕様書（案）の作成

⑧ 財政計画

・以下の概算事業費を算出すること。また、算出根拠を示すこと

ア) 会場整備費

イ) 展示・行催事費

ウ) 交通輸送・会場運営費

エ) 広報宣伝費

- ・概算事業費に見合う事業収支計画を作成すること。広告収入やクラウドファンディング、イベント会場における出店料の徴収等、様々な方策を検討すること

⑨ 推進スケジュール

- ・祭典実施に関する各種事項について、スケジュールの検討を行うこと

⑩ ロゴ・シンボルマーク等

- ・ロゴ・シンボルマーク及びメインビジュアルについて比較検討を行う（使用マニュアル等付随する必要事項の検討も含む）とともに、チラシ・ポスターのデザイン提案（各3案程度）を行うこと
- ・採用案決定後は印刷原版の制作（付随する各種作業含む）を行うとともに、一般財団法人淡路島くにうみ協会及び実行委員会に知的財産権を譲渡すること

⑪ その他

- ・実行委員会が開催する「実行委員会」、「企画委員会」に出席するとともに、各会議の資料（企画原案および企画案の作成、資料の印刷含む）作成、委員への謝金及び旅費の支払い、各会議の意見の取りまとめ（議事録作成等）、その意見や事務局の指示に基づく会議資料の修正等を行うこと

#### 4 業務計画書

(1) 受託事業者は、契約締結後5日以内に業務計画書を作成し、提出すること。

(2) 業務計画書には、下記事項を記載すること。

①業務概要

②実施方針

③業務スケジュール

④業務組織計画

※ 企画提案募集において提示のあった実施体制を基本とすること。また、体制の変更を行う場合は実行委員会の了承を得ること

⑤その他

#### 5 成果品

(1) 報告書（A4版） 2部

(2) 実施計画 20部

(3) 報告書データSDカード 2部

(4) ロゴ、シンボルマーク、メインビジュアル、チラシ・ポスター印刷原版SDカード 2部

#### 6 委託期間

契約日から2024年6月30日まで